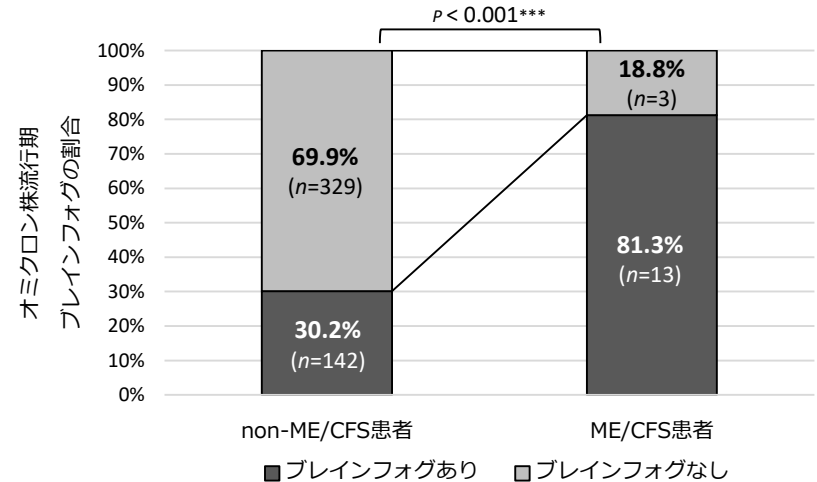
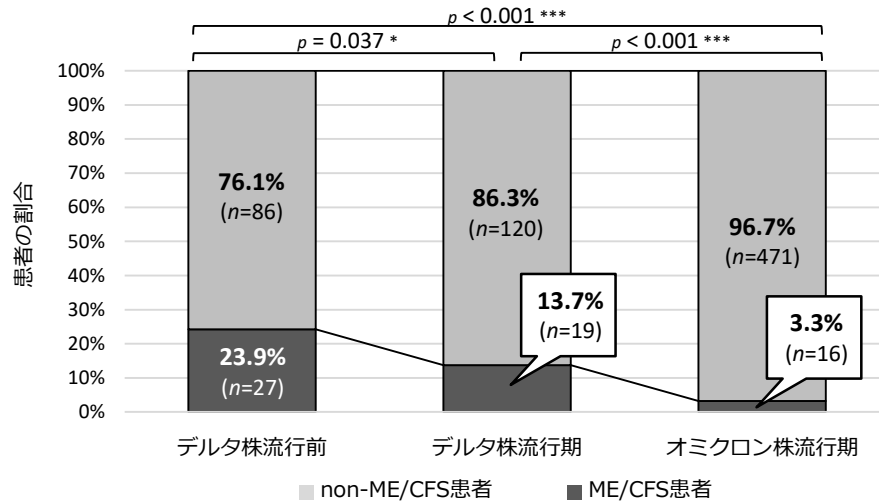


新型コロナ後遺症に関連した筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の特徴

当院コロナ・アフターケア外来を受診した新型コロナ後遺症患者748人（2021年2月15日～2023年7月27日）のうち739人（10歳以上・新型コロナ発症4週以降受診）を対象に、新型コロナ後遺症に関連した筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群（ME/CFS）の特徴を調査した。



- ▶ 新型コロナ後遺症のME/CFSへの移行には、新型コロナに感染した**急性期の重症度や、一部の習慣が関連**している可能性が示唆された。
- ▶ 感染時期別の新型コロナ後遺症に関連したME/CFSへの移行率はデルタ株流行前:23.9%、デルタ株流行期:13.7%、オミクロン株流行期:3.3%と**減少傾向**にあった。
- ▶ 新型コロナ後遺症に関連したME/CFSでは感染時期によらず倦怠感と頭痛が代表的な症状だが、オミクロン株流行期では**ブレインフォグ症状の頻度**が高く81.3%にまで昇った。

新型コロナ後遺症に関連したME/CFSは、感染時期により臨床的な特徴が異なる